

主な公共施設の利用者数の推移について

令和6年12月 奥州市総務部行革デジタル戦略課

平成17年度から令和5年度までの18年間の主な公共施設の利用者数の推移についてまとめました。

合併後、地区センターが微増傾向、体育館が増加傾向にあったものの、その他の施設は総じて減少傾向となっていました。コロナ禍の影響を受けて、令和元年度から令和4年度あたりまでは更に、利用者数はどの施設も大きく落ち込みました。徐々に利用者数は戻ってきましたが、コロナ禍前の状況にはどの施設も戻っていません。

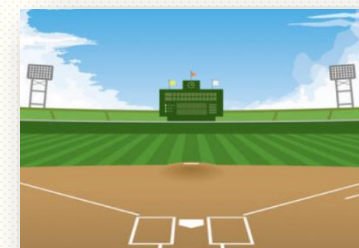
令和5年度の状況では利用者数の減少の度合いは、人口減少率よりも高くなっている施設が多く、この要因として人口減少によるもののほか、市民の余暇の過ごし方が多様化してきている影響だと考えられます。

人口減少率 ▶ 16% (H17年 : 131,171人 R5年 : 110,148人 ※各年9月30日現在)

年齢3区分別人口減少率 ▶ 年少人口 (15歳未満) 減少率 26% (H18年 : 13.5% R5年 : 10.0%)

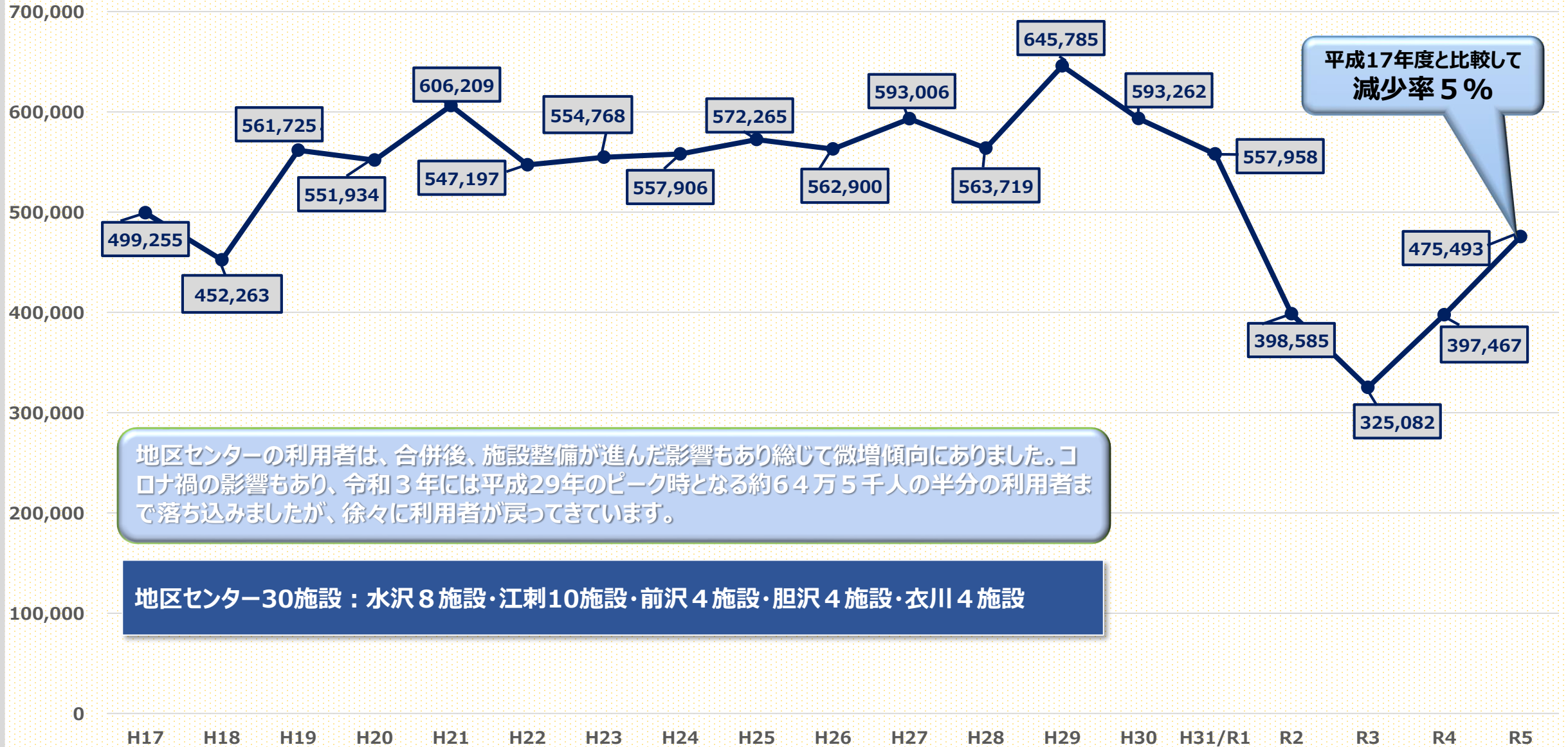
▶ 生産年齢人口 (15~64歳) 減少率 11% (H18年 : 59.6% R5年 : 53.0%)

▶ 老年人口 (65歳以上) 増加率 38% (H18年 : 26.9% R5年 : 37.0%)



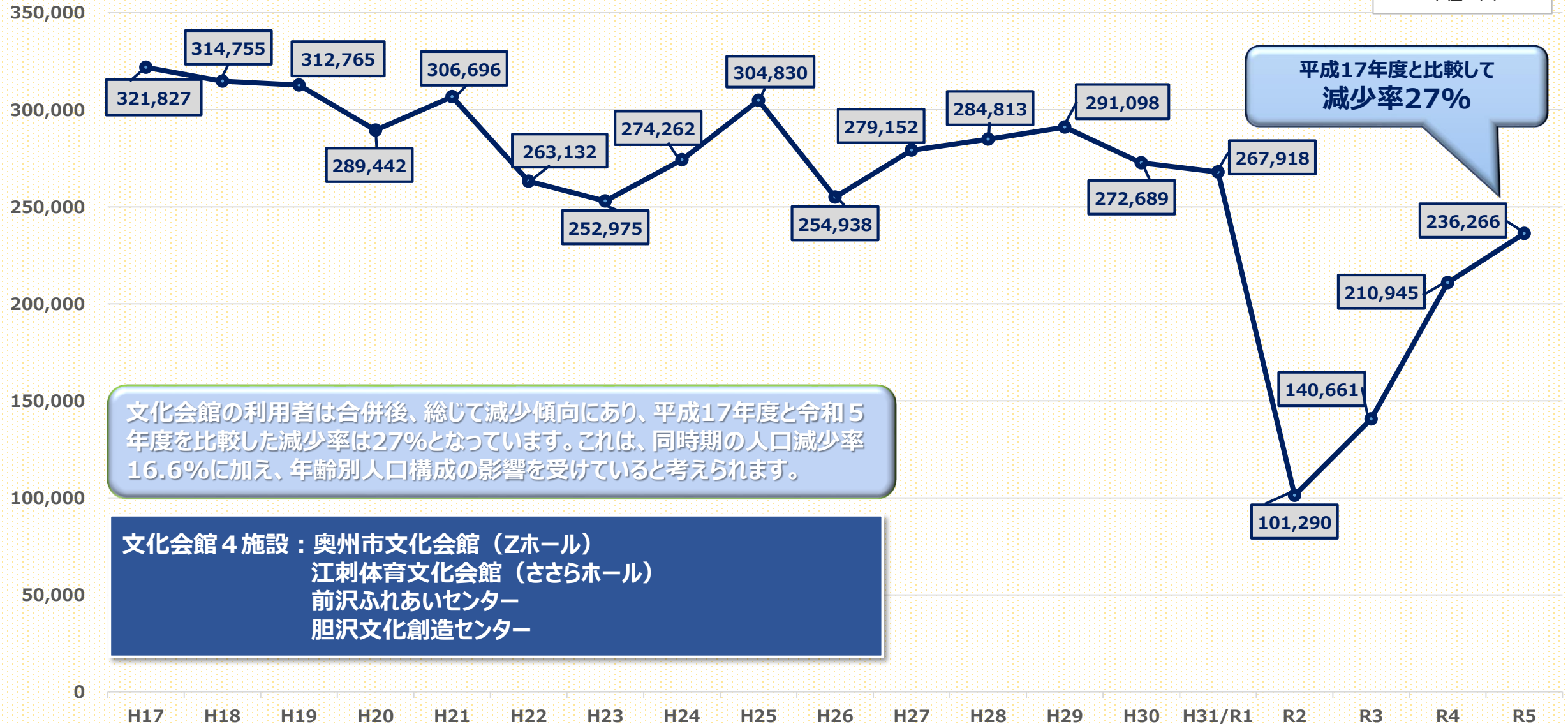
地区センター

「奥州市統計書」より
単位：人



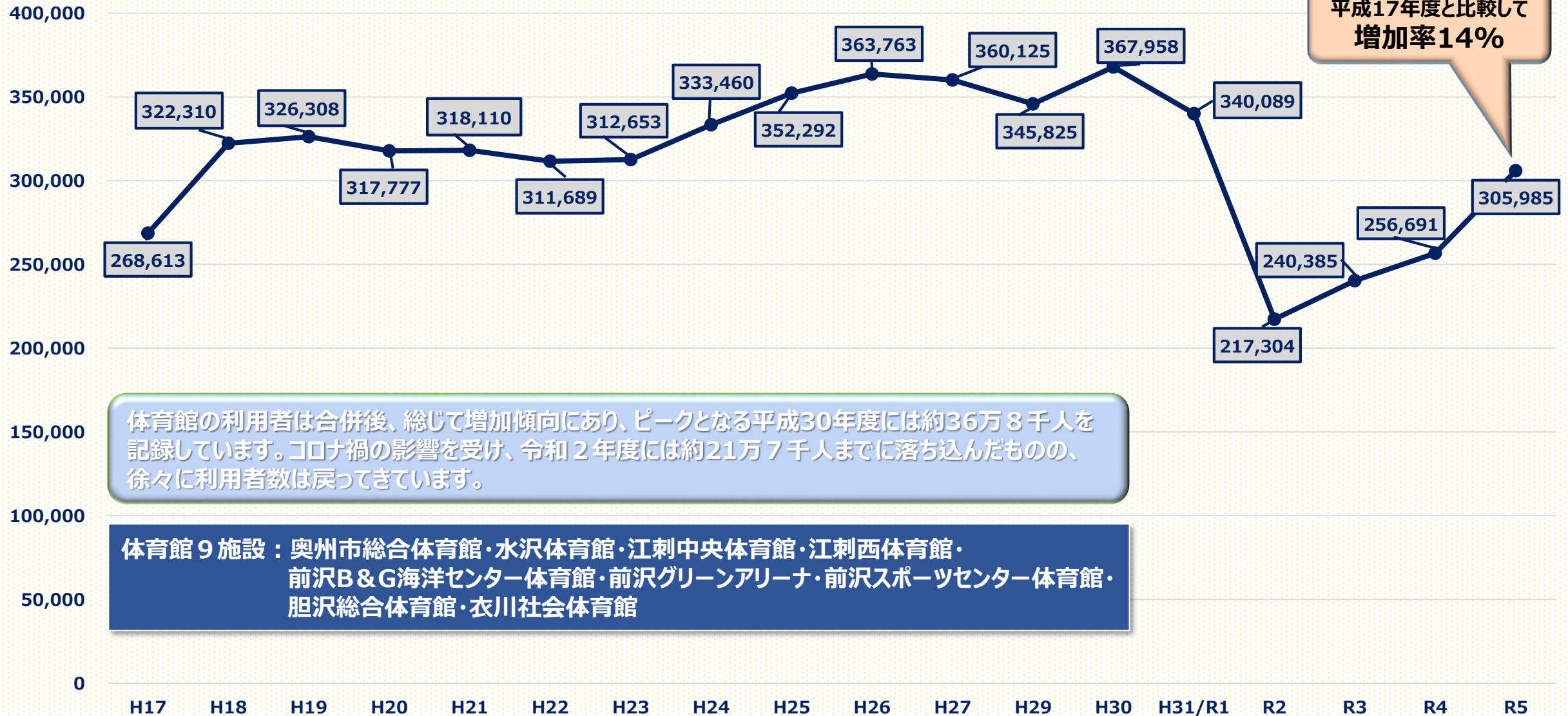
文化会館

「奥州市統計書」より
単位：人



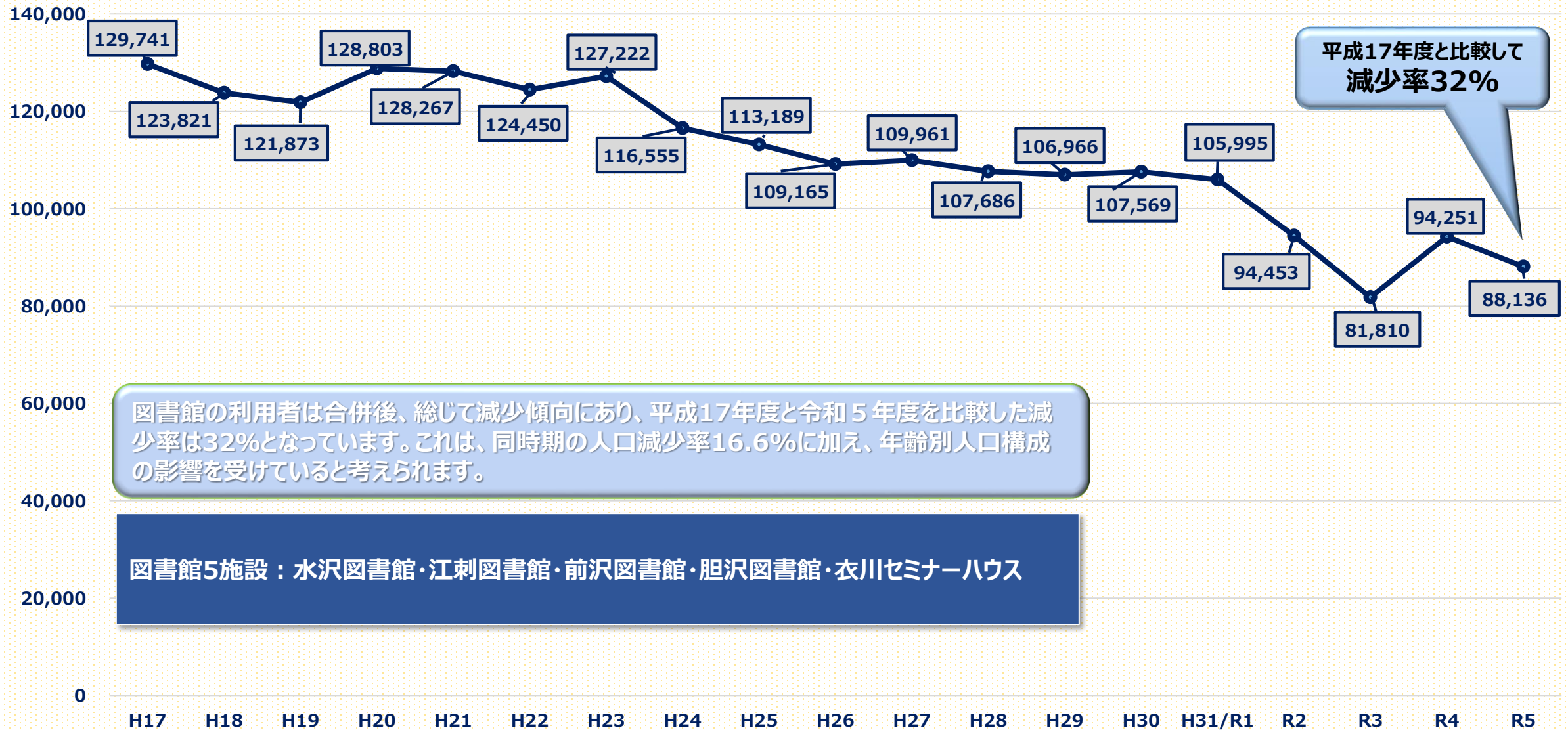
体育館

「奥州の教育」より
単位：人



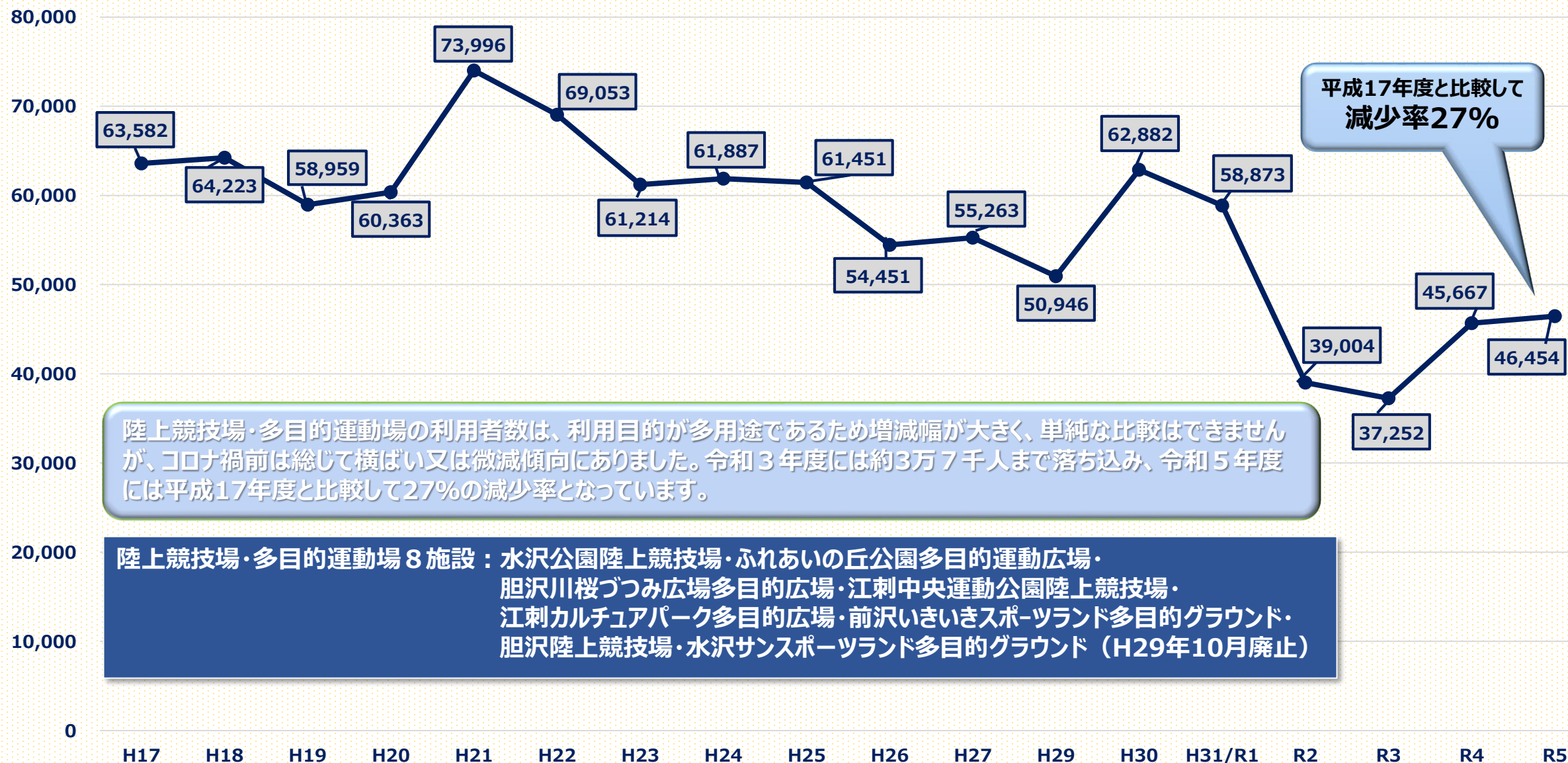
図書館

「奥州の教育」より
単位：人



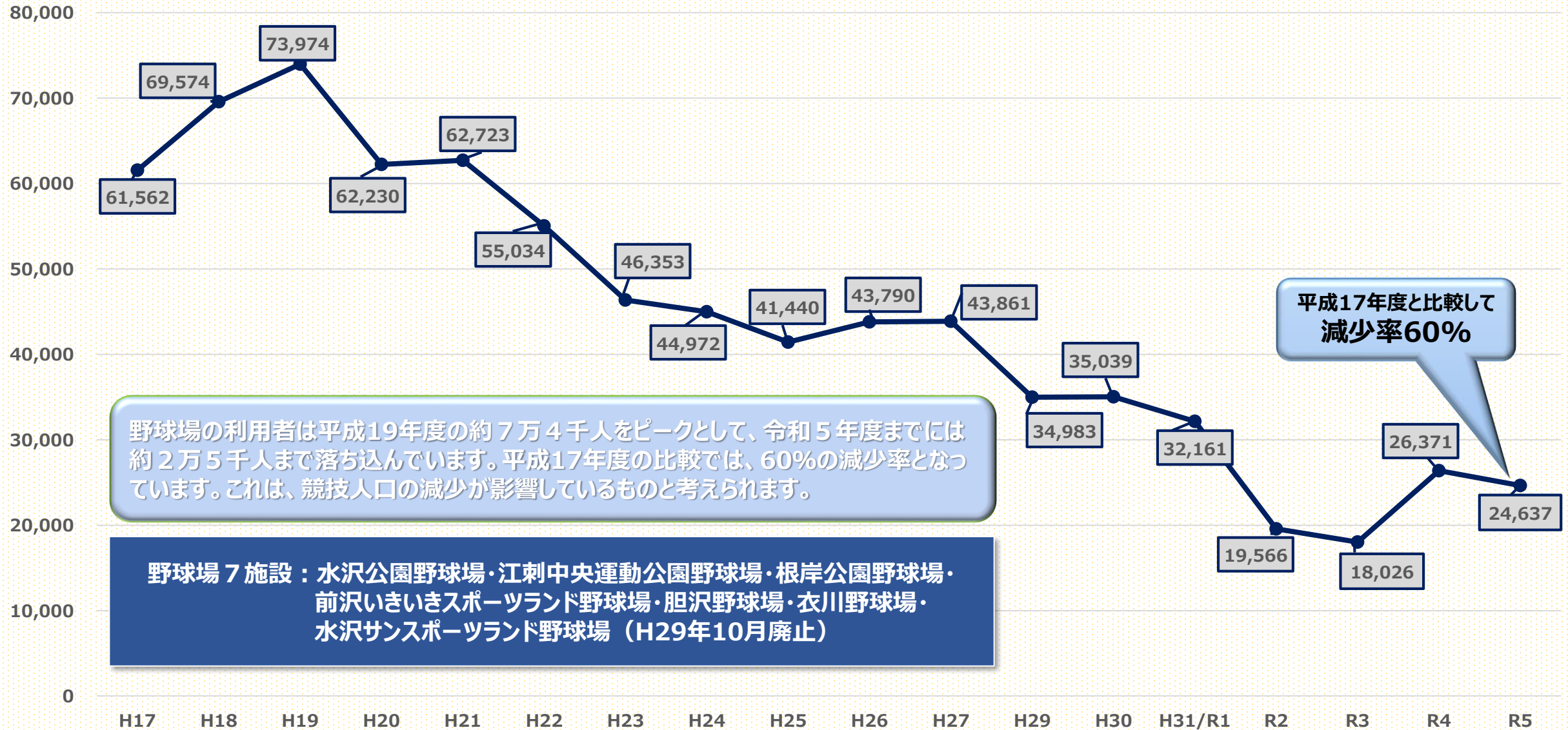
陸上競技場・多目的運動場

「奥州の教育」より
単位：人



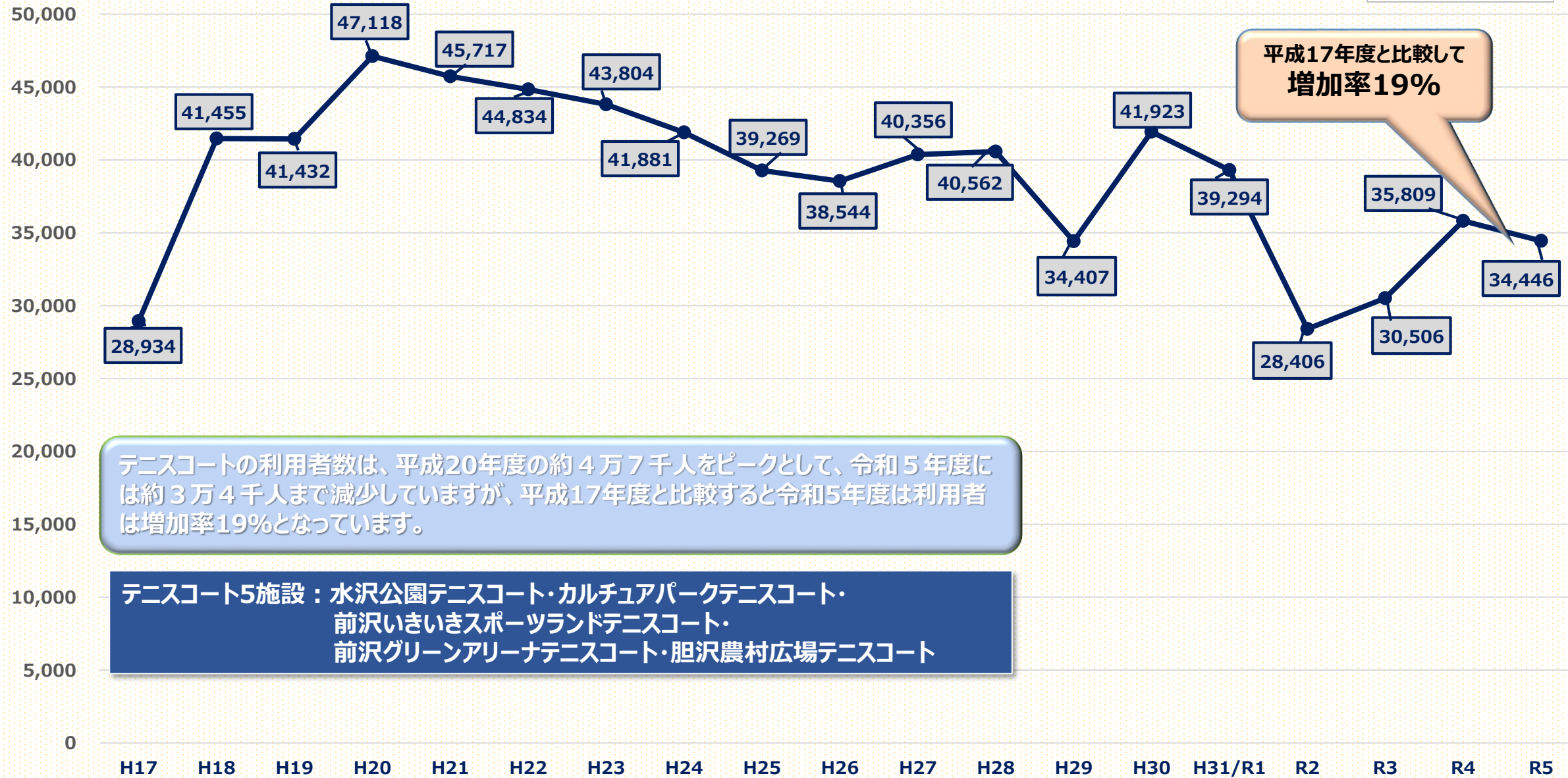
野球場

「奥州の教育」より
単位：人



テニスコート

「奥州の教育」より
単位：人



プール

「奥州の教育」より
単位：人

